

## 2022 年度

## 授業概要

科目名	装具実習Ⅳ				授業の種類	講義/実習	講師名		
授業回数	38回	時間数	75時間	(3単位)	配当学年・時期	義肢装具士科4年制3年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
<p>上肢装具の製作および適合に必要な基礎と臨床について学ぶ。</p> <p>上肢の疾患に関する知識を習得し、それに対する装具療法について学ぶ。</p>									
〔授業全体の内容の概要〕									
講義、製作実習を通し、上肢の疾患及び対応する装具について学ぶ。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
<p>上肢装具の製作に必要な採型・採寸の基本的理論と方法を適確に理解できる。</p> <p>適合の理論と実際について理解できる。</p> <p>上肢の病態の生体力学的根拠に基づく製作理論を展開・製作できる。</p>									
回数	講義内容								
1	講義①	上肢装具概論・手関節背屈装具・熱傷							
2	講義②	対立装具・把持装具							
3	講義③	手の外傷・手の関節の障害と装具							
4	講義④	腱の障害・上肢の神経障害							
5	講義⑤	肘関節・肩関節疾患							
6	実習1	手関節背屈装具 採型DEMO							
7	実習2	手関節背屈装具 採型							
8	実習3	陽性モデル修正DEMO							
9	実習4	陽性モデル修正							
10	実習5	モールドDEMO							
11	実習6	モールド							
12	実習7	トリミングDEMO							
13	実習8	トリミング							
14	実習9	仕上げDEMO							
15	実習10	仕上げ							
16	実習11	ダイナミック採寸DEMO							
17	実習12	ダイナミック採寸							
18	実習13	設計・パーツ製作DEMO							
19	実習14	設計・パーツ製作							
20	実習15	設計・パーツ製作							
21	実習16	各パーツ曲げ加工							
22	実習17	各パーツ曲げ加工							
23	実習18	各パーツ曲げ加工							
24	実習19	各パーツ曲げ加工							
25	実習20	各パーツ曲げ加工							
26	実習21	組み立て・仕上げDEMO							

## 2022 年度

## 授業概要

科目名	装具実習Ⅳ			授業の種類	講義/実習	講師名		
授業回数	38回	時間数	75時間 (3単位)	配当学年・時期	義肢装具士科4年制3年	必修・選択	必修	
27	実習2 2 組み立て・仕上げ							
回数	講義内容							
28	実習2 3 組み立て・手関節背屈装具評価							
29	実習2 4 仕上げ・手関節背屈装具評価							
30	実習2 5 仕上げ・手関節背屈装具評価							
31	実習2 6 短対立採型							
32	実習2 7 短対立採型							
33	実習2 8 モールド							
34	実習2 9 仕上げ							
35	実習3 0 C M関節装具採型DEMO							
36	実習3 1 C M関節装具採型							
37	実習3 2 モールド・ダイナミック評価							
38	実習3 3 実技試験							

## 【 準備学習・時間外学習 】

【実習】 事前学習：教科書による予習。 復習：ノート・課題レポート作製。

【座学】 事前学習：テキスト+配布資料による予習。 復習：プリントの復習。

## 【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
装具学 第4版	加倉井周一編	医歯薬出版
義肢装具学 第4版	川村次郎 編	医学書院

## 【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

実習課題+小テスト・レポート課題+終講試験により認定する。

\*ただし実技試験、終講試験それぞれの点数が60%を満たさない場合は再試とする。